

理事長メッセージ

～緊急事態宣言を受けて～

2020年4月8日

学校法人聖母被昇天学院
生徒・児童・園児保護者の皆さまへ

学校法人聖母被昇天学院
理事長 宮本 恵子

世界はグローバル化によって多くの人や民族が移動し、あらゆる情報は世界中を回り人々を結び付けてきました。今や新型コロナウイルスの感染は人と人との関係を分離させるかの如くその威力は広がって私たちの命を脅かしています。欧米での爆発的な感染はもはや日本も例外ではありません。非常事態宣言が出されました。私たちが今できることは自分が感染しないように、他者に感染させないことです。Stay home。

この不幸な出来事をどのようにとらえ理解していくのか、予想不可能なことにどのように対応していくのか、それは大人も子供も、教師もみんなに問われています。

Stay home であっても学び続けます。“Assumption の教育は続くどこまでも” Web 等で授業を継続し、自主的に学ぶこと、また同時に連絡も取れます。人は決して一人では生きていけません。この困難な状況の中でこそ見つけ、与えられた課題を考え学ぶことは一人ひとりのそしてお互いの成長につながるものと信じています。

ローマのバチカンから教皇フランシスコが出されたメッセージでどんなに離れていても祈りに於いて私たちはつながっているという体験がありました。同じ時間に世界中で心をあわせて祈るというものでした。国を超えての支援、医療現場で働いている人、感染して苦しんでいる人、苦しむ世界のために祈ること。全ての人の内にある善なるものが他者のために花開く時が来ますように。

アサンプション国際は全教職員が一体となって教育活動を継続します。一致団結、力を合わせてこの難題を乗り越え、この経験を糧として子供達とともに未来を切り開いていきたいと思えます。